

東京都新宿区北新宿1-8-16  
 東京土建一般労働組合  
 電話03 (5332) 3971 (代表)  
 FAX03 (5332) 3972  
 発行人・編集人  
 三木 勉

印刷部数11万1600部

(購読料は組合費のなかに含まれています)

(年間購読料 千八百円)

定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

### さまざまの口の声 東京芸術座公演

いじめ事件に関わった中学生の今を描きます。「日時・会場」4月8日〜12日、六本木・俳優座劇場「料金」一般4000円。申し込みは本部厚生文化部(電話03-5332-3975)まで。

# 訴訟 アスベスト建設首都圏 東京3陣原告団を結成

## 新たな被害者の思い受け 最高裁の外堀埋め全面解決へ

建設アスベスト訴訟は神奈川、東京、京都、大阪、九州の1陣訴訟が最高裁に係っています。最高裁での勝利判決を導き全面解決を目指す、首都圏建設アスベスト訴訟東京第3陣原告団結成総会が2月8日、けんせつプラザ東京で開催されました。



67人の第3陣原告が参加した

結成総会は河野統一本部副部長の開会あいさつに続いて、原告団役員から吉田共同代表、統一本部から松丸統一本部長、全建設連から田久労働対策部長があいさつ。3陣原告への激励と共にたたく決意を述べました。弁護団からは小野寺弁護団長があいさつし、続いて佃弁護団事務局長から訴訟の到達点と全面解決の展望として、全国の12の裁判で明確になった国とメーカーの責任について報告。また3月24日の札幌、さいたま、東京、横浜での3陣一斉提訴、京都、福岡での

北川統一本部事務局長は、新たな被害者の思いを組合が受けとめ、補償基金制度の実現をめざし、訴訟を全国展開していくと第3陣の意義・目的について報告し、3月24日の提訴日行動や4月17日の東

2陣の追加提訴は最高裁の外堀をさらに埋める意義があると強調するとともに、1陣が12年、2陣が6年もかけなければ解決しないのは理不尽だと批判しました。

## 司法解決方式許すな 神奈川2陣結審で大集会

1月30日、首都圏建設アスベスト神奈川2陣の東京高裁

での審理は終了し(結審)、8月28日に判決が言い渡されることが決まりました。

午前中から午後にかけて原告、弁護団、支援者は高裁前集会、院内集会、議員要請(あらたに4人の参議院議員から署名を獲得)と精力的に活動し、午後6時半からは横浜開港記念会館で結審大集会を行いました。

主催者を代表してあいさつに立った松丸統一本部長は「この間示された判決で、国の責任は明白だ。しかし上告を続けており、国も企業も許せない。私の所属する支部では毎年原告団の交流が行なわれているが、前年に参加してい

に加わりました」。遺族原告として参加した上原サチ子(ち第3陣原告は67人)が参加しました。第3陣への参加を悔しい思いです。一人親方も認定されたと聞き、たたかいの力になるならと思ったし、これからの若い人のために、たたかいの土壌を作ってあげたい」と話してくれました。

た原告が亡くなられたと報告を受け、この無念を晴らさずにはいられない。全面解決、補償基金創設に向けて力を合わせよう」と、時に声を詰まらせながら訴えました。

弁護団報告として西村神奈川弁護団長が、国の「司法解決方式」(補償基金制度創設を否定するもの)の画策を許さず、最高裁で質の高い判決を必ず勝ち取るために全力を尽くそうと呼びかけました。

原告からは神奈川の鎌山さん(遺族原告、妻)、中山さん(本人、タイル工)が悲惨な被害実態を語り、望月さんが支援の訴えと決意表明を行いました。



とよせ合力へ全面解決訴える松丸統一本部長

映画「風の電話」では、主人公のハル(毛トウラ世理奈)を故郷の岩手県大槌町まで送り届ける森尾(西島秀俊)という元原発作業員が登場する。森尾は福島原発事故の責任を自らに背負わせて生きている。ハルを勇気づけるが、ハルと同じように震災で家族を失っていた。

環境省は福島の除染土を再利用するための省令案を公表し、パブリックを募集していた。実証実験として帰還困難区域の長泥地区で除染土による花栽培が進んでいる。しかし環境へ放射能汚染が広がる可能性や、広がったときの責任などはどうなっているのか。除染土再利用には国民的な議論が必要なのではないか。

「福島を忘れない」をテーマに2月29日から、練馬区にある武蔵大学とギョラリ古藤で江古田映画祭が開かれる。今年で9回目になるが、今回は14人の被災者の声を追った「福島は語る」(完全版330分)を始め、核や平和を取り上げた映画が上映される。

ハルや森尾と同じように悲しみや喪失感を抱く被災者の声を聞くことは、私たちに課せられた責務だろう。東京五輪の陰で福島原発汚染水や除染土の処分を被災者の声を無視して進めることにならないか。映画を通してどうすれば被災者の立場に立った復興ができるのか考えてみたい。

### 2020年度本部役員選挙告示

2020年度東京土建一般労働組合本部役員選挙について下記のとおり告示します。2020年1月31日 第73回定期大会 選挙管理委員会

委員長 植松 和文  
 一、本部役員定数  
 役員定数は1月31日の第11回中央執行委員会以下のとおり確認しました。

①中央執行委員長(非専従) 1人(現行通り)  
 ②中央副執行委員長(非専従) 1人(現行通り)  
 ③書記長(専従) 1人(現行通り)  
 ④書記次長(専従) 5人(現行通り)  
 ⑤常任中央執行委員 21人(1人増)  
 ⑥中央執行委員(非専従) 46人(現行通り)  
 ⑦会計監査(非専従) 3人(現行通り)

非専従常任中央執行委員12人(現行通り、うち1人は青年部長)  
 ①受付期間 2020年3月2日(月)午前9時30分〜午後3時  
 ②受付会場 けんせつプラザ東京(2階 応接室)

③受付方法 立候補は1人1役職、選挙管理委員会が定めた立候補届出用紙に必要事項を記入し、署名のうえ選挙管理委員会に届け出ます。立候補する役職の変更は受付期

間中とします。  
 ④立候補者一覧 受付終了後、立候補届にもつき立候補者一覧を発行し、各支部書記局宛に送ります。立候補者一覧の記載順序は各役職の受

付順とします。ただし中央執行委員は支部順とします。  
 三、選挙  
 役員選挙は役職ごとに第73回定期大会で行ない、選挙の時間は選挙管理委員会が大会運営委員会と協議して定め

二、立候補受付  
 ①受付期間 2020年3月2日(月)午前9時30分〜午後3時  
 ②受付会場 けんせつプラザ東京(2階 応接室)

四、選挙人  
 選挙人は資格審査を経た第73回定期大会を構成する代議員です。ただし、投票時間中に出席していない選挙人は投票することはできません。

以上